

熊本大学大学院法曹養成研究科
平成27年度第2期募集 法律科目試験問題

民事訴訟法

平成26年10月25日(土) 15:15~16:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして、2枚の解答用紙（裏面も使用）に収めて下さい。
解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【 問題 】 (配点 : 40点)

Aは、Bに500万円を貸与したが、約束の期限が過ぎても弁済がないと主張し、貸金返還請求訴訟を提起した。それに対して、Bは、確かに上記のお金を借りたが、すでに弁済した、と主張して争った。その後、裁判所は、Cの証人尋問の結果、AがBに貸与した500万円は、実は賭博による貸金であるという心証を得た。

裁判所は、賭博による貸金である旨の当事者の主張がないにもかかわらず、その心証どおりに、公序良俗違反に基づくA・B間の貸金契約の無効を理由としてAの請求を棄却することができるか。見解の対立に留意して論じなさい。

以上